



GTR

Transformative Chem-Bio Research
Nagoya University

名古屋大学 卓越大学院プログラム
トランスフォーマティブ
化学生命融合研究大学院プログラム

GTR Seminar

日時

2月25日 (火) 13:00~

場所

農学部 A館 3階 334号室

植物イオン輸送体の分子標的化合物の探索

東北大学工学研究科バイオ工学専攻・教授 魚住 信之

イオンチャネル・トランスポーター・ポンプは多彩な環境に適応するために数少ない基本構造から分子進化した。イオン輸送体は養分吸収、体内循環、環境適応、気孔開閉などに深く関与する。微生物や動物細胞を利用した発現解析系や電気生理測定によって、微生物や植物のK輸送体の輸送活性が明らかになった。耐塩性にかかわるNaトランスポーター、非栄養元素Rb/Cs輸送体、Clチャネルの細胞内調節系について紹介するとともに、情報伝達反応の解析道具やバイオスティミュラントとなるイオンチャネルの特異的阻害剤の探索について考察する。

連絡先

白武 勝裕

生命農学研究科園芸科学研究室
shira@agr.nagoya-u.ac.jp

主催：卓越大学院プログラム
トランスフォーマティブ化学生命融合研究大学院プログラム